

【京撮・業務のコロナ予防ガイドライン】改訂⑤ - a

東映京都撮影所長

※ワクチン接種済であってもガイドライン順守をお願いします。

(1) 大前提として

- ①三密を避ける。1. 「密閉」換気の悪い密閉空間。2. 「密集」多数が集まる密集場所。
3. 「密接」間近で会話や発声する密接場面。
- ②マスク必着のこと。無い方は受付で手製マスクを配布します。ただし、熱中症予防のため、ソーシャルディスタンスを確保出来る場合は、時と場所によってはマスクをはずしてもよい。
- ③手洗い・うがいの励行。手洗いはアルコール消毒を常に心がける。
- ④朝必ず検温して 37.5℃もしくは明らかに平熱より高い場合、また体調不良の場合は、出勤就業せず、所属長に連絡のうえ、医療機関に相談すること。発熱・体調不良は、その日を含めて原則 5 日間自宅待機。
- ⑤家族・同居者の発熱・体調不良が発生した場合、その旨速やかに上長に報告・相談して指示に従うこと。その場合も指示あるまで自宅待機。
- ⑥守衛所受付では、全員サーモグラフィを通過すること。

(2) 出勤時について

- ・各スタッフ・全従業員は、朝検温し、体調の有無を必ず所属長へSメール等で報告すること。
- ・各室長は、各作品の準備始動時間にはSメール等連絡を受けれる体制をとっておくこと。例えば7時30分出発なら1時間前の6時30分には連絡を受けれるように待機しておくこと。
- ・各室長は、発熱者及び体調不良のスタッフがいた場合は、すぐに製作担当に連絡し、交代のスタッフの手配等の対策を講じること。
- ・連絡を受けた製作担当は、作業の補てん、遅延に関する対策を講じること。
- ・キャストに関しても、朝検温してもらい、体調の有無を必ず演技事務へSメール等で報告してもらうこと。
- ・キャストでタクシーや自車で入所し、サーモグラフィを通過していない方は、演技事務所にて検温してもらうこと。
- ・監督ならびにキャストに関して、発熱、体調不良の者が出た場合、製作担当はプロデューサーへ連絡し、その日の撮影を中止するのか等、善後策を講じること。

(3) スタッフルームについて

- ・プロダクション棟の大部屋を使用のこと。
- ・三密を避け、席の間隔を空けること。
- ・窓を開け換気すること。

- ・話をする場合は2メートル以上の距離を保つこと。

(4) 本読み、打合せ等について

- ・出来るだけ回数を減らし、必要最小限の人数で行うこと。
- ・広い部屋で、三密を避け、換気すること。
- ・座席間は1.5メートル以上離れるよう配置すること。

(5) ロケハンについて

- ・アルコール消毒スプレー必携のこと。
- ・必要最小限の人数で行うこと。
- ・車内で三人掛けしないこと。一列二人で真ん中を出来るだけ空けること。
- ・1台で乗車が窮屈な場合は、もう1台配車すること。
- ・車内マスク必着のこと。
- ・窓を開け換気すること。
- ・ロケハン先でも、建物等に入る前は先方が見ている前でアルコール消毒し、礼儀正しくし、マスク必着し、不必要に物に触らないこと。

(6) 衣裳合わせについて

- ・必要最小限の人数で行うこと。
- ・広い部屋(プレハブ2F衣裳倉庫等)で三密を避け、換気して行うこと。
- ・他者と2メートル以上の距離を保つこと。
- ・メイク、衣裳、持道具係等、キャストに触れる作業をする場合は、フェースシールドを着け、基本的に使い捨て手袋を使用し、毎回手指を入念にアルコール消毒を行うこと。

(7) キャストの支度について

①メイク作業について

- ・一時に大勢の支度をしない。密を避け順番に行う。
- ・支度席の間隔を空ける。
- ・メイク道具はキャストごとに変えるか、アルコール消毒をしてから使う。
- ・フェースシールドを着け、基本的に使い捨て手袋を使用し、毎回手指を入念にアルコール消毒を行うこと。

②衣裳着付け作業について

- ・一時に大勢の支度をしない。密を避け順番に行う。
- ・フェースシールドを着け、基本的に使い捨て手袋を使用し、毎回手指を入念にアルコール消毒を行うこと。

(8) ロケ車輛等

- ・マイクロバスの乗車定員は三密を避けるためドライバーを除き13名以内とすること。定員オーバーの場合は別に車を用意すること。

- ・座席は必ず横席一つを空け座ること。
- ・車内マスク必着のこと。
- ・窓を開け換気すること。
- ・アルコール消毒液は常に携行し、乗車時・降車時はつねに消毒を行うこと。

(9) ロケ場所にて

- ・時節柄、寛大な心で協力して頂いているロケ先に対し、細心の注意と感謝を心掛けること。近所からのクレーム等に関しても出来るだけ迷惑をかけないよう細心の注意を払うこと。
- ・ロケ先では、建物等に入る人数は必要最小限とし、入室前は先方が見ている前でアルコール消毒し、礼儀正しくし、マスク必着し、不必要に物に触らないこと。
- ・換気出来る場所では、換気を心掛けること。
- ・ロケ撤収時、先方が見ている前で、スタッフが触れたドアノブ等をアルコール消毒液を含ませた布で拭き取ること。
- ・屋外の開けた場所等で、ソーシャルディスタンスを確保出来る場合は、熱中症予防のため、マスクをはずしてよい。
- ・現場に非接触型検温器とアルコール消毒液を用意するが、出来るだけマイ体温計を持参すること。
- ・撮影中の昼及び夕方の検温で 37.5℃もしくは明らかに平熱より高い場合、製作担当に報告の上、日陰などで休んで改めて検温し直すこと。それでも体温が下がらないときは、熱中症の可能性も考えて業務を停止し、製作担当の指示に従うこと。

(10) ステージ・所内撮影について

- ・ステージ内や現場へ入る前に必ず手指をアルコール消毒すること。
- ・シーン替わり等、タイミングをみて大扉や窓を開け換気を心掛けること。
- ・出来る限り他者との距離を空けること。

(11) 現場でのキャストへの気遣いについて

- ・メイク、衣裳、持道具、録音部係等、キャストに触れる作業をする場合は、フェースシールドを着け、基本的に使い捨て手袋を使用し、毎回手指を入念にアルコール消毒を行うこと。
- ・ワイヤレスマイクの着脱にも気を使うこと。マイクのアルコール消毒をガーゼ等でしてからキャストへは付けること。

(12) 撮影機材・照明機材・録音機材等について

- ・出来るだけ、複数のスタッフが同じ機材に触れないように心掛けること。
- ・使用前、休憩時、使用后等、適宜アルコール消毒を心掛けること。
- ・特機の使用も出来るだけ控えること。

(13) 現場ベースのモニター前について

- ・映像トランスミッター等を利用し、不必要にモニター前にたむろせず、他者との距離を空けること。
- ・必要スタッフのみチェック用に利用すること。

(14) トランシーバーについて

- ・一人一機専用とし、撮影現場での貸し借りはしないこと。使用前、使用後はアルコール消毒すること。

(15) 茶桶について

- ・熱中症対策に水分補給は必須のため、今までとおり現場には茶桶は用意する。
- ・コップの使い回しは厳禁。
- ・蛇口コックに触る前に手指のアルコール消毒すること。
- ・紙コップも用意するが、個々のスタッフでのマイボトル、マイ水筒の携行を推奨する。

(16) 現場での飲料や食べ物、菓子等について

- ・キャスト等からの差し入れは遠慮すること。
- ・食べ物、菓子等をテーブル上に並べ置きしないこと。
- ・コーヒー等飲み物の提供もしないこと。
- ・ツナギは、個々に包装されたものに限るが、手にとって選ぶことは避けること。
- ・現場での劇用キエモノに関し、キャストが口にするものは特に衛生管理を心掛けること。

(17) 早朝作業、深夜作業、長時間作業について

- ・疲労が蓄積されると免疫力が低下するので、出来るだけ避けて下さい。

(18) 所内・食堂、喫茶室について

- ・所員食堂は、6/15 から営業を再開したが、十分にソーシャルディスタンスを確保して利用すること。(テーブル上、仕切板設置済)
- ・昼食帯は混雑を回避するため、美術・装置系の従業員は 11 時 30 分より、事務系の従業員は 12 時 30 分よりと、昼休みを調整可能な従業員はそうすること。
- ・喫茶室は、6/22 から営業再開するが、当面、午前中 10 時までとする。

(19) ポスプロセンター室ガイドライン

○入室の際は、マスク着用、1 階、3 階ポスプロエリア入口にアルコール消毒液で消毒して入室する。

○試写室の利用について

- ・理想は 1 2 席
- ・座席前後、左右 1 5 0 c m の間隔距離がある。
- ・最大座席は 2 0 席
- ・座席前後、左右 1 席間隔を空けるなら間隔距離 6 0 c m

○MA 時の利用について

- ・担当者はフェイスシールド着用
- ・クライアント席は最大3名
- ・その他2名迄はアナブース使用 ※MA⇔アナブース相互通話検討

○編集室・サウンド編集室、マルチルームの利用について

- ・DR、プロデューサー等同室時は担当者はフェイスシールド着用

○ミーティングルーム、ラウンジの利用について

- ・最大人数は6名まで
- ・換気対策 ※要網戸
- ・複数人での飲食は禁止
- ・MA、フォーリー、試写室に於いての飲食は禁止

○録音部について

- ・チーフは俳優にワイヤレス装着時に手袋、フェイスシールド着用
- ・俳優1人1波、ワイヤレス伝送要検討

○記録

- ・俳優に台本チェック時他、フェイスシールド着用

(20) 作品ごと、クライアント別のガイドラインについて

京撮ガイドラインとは別に、それぞれの作品ごとのガイドライン、またはクライアント等からガイドラインが出ている場合は、京撮ガイドラインを応用し、それに従うこと。

○一例として

- ・テレビ朝日作品では、クランクイン1週間前から参加スタッフ、キャスト、エキストラ等全員の検温を求められている。
- ・テレビ朝日作品では、撮影日は朝だけでなく、昼、夕の検温も求められている。

なお、再三の繰り返しになりますが、以下のふたつ、くれぐれもよろしくお願い致します。

○自分がいないと撮影ができないという責任感から体調不良があってもそれを隠して撮影に参加するような無理を絶対にしないこと。

○万が一感染者が出てその人を責めたり、非難したり、ましてや差別することのないようにすること。

(21) 夜の会食（飲食）について

- ・新型コロナの感染拡大状況に鑑み、アルコールの有無を問わず、当面の間禁止します。

(22) スタッフ間の感染・濃厚接触認定を防ぐ為、食事(ロケハン、休憩時含む)等、マスクを外す際は社会的距離を保持し、会話は禁止。

以上